



熊本県立ひのくに高等学校

職員室 . com

平成28年5月27日 第3号

現場場実習巡回記

By 校長

3年生の現場実習が5月9日から期間を短縮し、2週間の日程でありました。

震災の影響で期間短縮となりましたが、受け入れ先企業の皆様のご理解もあり、実習を行うことができました。2週目には、田原進路指導主事、キャリアサポーター荒木先生と4日間、職場の巡回をすることができました。全員の実習先を巡回することはできませんでしたが、限られた時間の中で在校生だけでなく、卒業生の「働く姿」から、たくましさを感じることができました。また、将来に対する希望や光が見えた気がします。3年生にとってはまさに「就職試験」です。実習先からの厳しい評価もあるでしょうが、自己の課題も認識できたはずで、今後の学校生活において改善するとともに、自分の強みをさらに伸ばしてほしいと思います。

ある生徒から「校長先生、職場にきていただいてありがとうございます。」とお礼の言葉がありました。「どうだった？」の問に、「緊張しました。」と本音も……。実習が続いている生徒、これから実習がある生徒、しっかり取り組んでください。

キャリア教育を考える

キャリアとは労働や就職のみにとらわれず、自分でやることを増やしていこうとする態度や意欲を育み、自らの生き方や進路を主体的に考え、進路を適切に選択できる生きる力のことです（学校運営方針に掲載）。職業教育のみを示すものではありません。生まれたときからキャリア教育は始まっていると思います。

具体的には、3つの力で構成します。

① ミュニケーション力

自己理解や協力・共同、コミュニケーションといった、人とのかかわりに関する力です。特に大切なのはあいさつと考えます。

「おはようございます」「ありがとうございます」「おねがいします」という言葉を我が家（中山家）では重視しています。

② 自分で決める力

自己選択、自己決定力目標設定や活動の振り返り、自己選択・決定、自己調整といった、課題解決や意思決定に関する力で、自分の力をきちんと把握しておくことが大切です。

レストランで食べたいものを選択すること、洋服を選ぶことなど、日常生活のあらゆる場面で大切な力となってきます。自立のための基礎です。

③仕事をする・持っている力を働かせる

基本的生活習慣の形成、健康状態の把握・管理、役割の遂行、きまり・マナー・法や制度の理解、情報収集及び活用、金銭・消費生活の理解、夢や希望といった、社会生活・職業生活との接点の中で働くことの意義を理解し、様々な情報を取捨選択・活用しながら、主体的にキャリア形成を図っていくことに關する力です。

実習とは・・・

1年生にとっての校内実習は自分の力をつかむための機会となります。で
きること、やってみたいこと、苦手なことを把握するためのきっかけです。
これから卒業に向けてのビジョンを持つための機会でもあります。

2年生の現場実習は自分の可能性を試す機会でもあり、将来に対する見通
しを持つ機会です。1年間の自分の成長を振り返るとともに、これからやる
べきことに気づくきっかけでもあります。

3年生の現場実習は自分の進路決定の機会です。実習の評価を真摯に受け
止め場合によっては自分の進路を見つめ直すときでもあります。

園芸科花苗販売会 5月25日～26日

今年も恒例の販売を実施しました。

震災の影響を心配しましたが、ガラスハウスも無事でした。ポットの落下はありましたが、順調に育苗ができ、販売の日を迎えることができました。あいにくの雨となりましたが、地域の皆さんはもちろん、近隣の小中学校や幼稚園、他の特別支援学校からの注文もありました。当日は、接客、会計、案内、搬出などに緊張しながら取り組む姿が印象に残りました。地域の恒例行事として、これからも地域にアピールしていきたいですね。多くの保護者の皆様にもご参加いただき、ありがとうございました。生徒のがんばる姿に感動されたことだと思います。生徒も自分たちが大事に育てた花がいろいろな人の手に渡っていくことが何よりの喜びです。

次の販売会でも、ご近所お誘い合わせの上、ご来校いただきますようお願いいたします。

